

ロータリー：
変化をもたらす

ARIDA 2000

No. 844

Club Bulletin

17-18年度 RIテーマ
「ロータリー：変化をもたらす」

会 長 大浦輝彦
幹 事 辻本正成
クラブ会報委員長 南 良暢

職業奉仕月間

四つのテスト 言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

例会日/毎週水曜日 19:00

事務局・例会場/〒643-0025 有田郡有田川町土生409
吉備インターゴルフセンター

TEL (0737) 52-8960/FAX (0737) 22-6800

E-mail/arida2kr@star.ocn.ne.jp

URL/http://arida2000rotary.club/

創立年月日/2000年 4月12日

本日のプログラム

平成30年2月21日第845回

ソング「手に手つないで」

会長の時間 幹事報告 委員会報告

ニコニコ箱報告 出席報告

卓話： 芝 会員

次回のプログラム

2月24日 植樹例会

3月 4日 駅伝サポート例会

3月14日 日赤血液センター

3月17日 親睦家族例会

(大相撲観戦)

前回の報告 (第844例会)

開催日 平成30年2月7日 (水)

点 鐘 大 浦 会 長

ソング「君が代」「奉仕の理想」

●会長の時間●大浦 輝彦君

皆さん こんにちは、本日もご出席ありがとうございます。

本日は、久しぶりの会員卓話です。永石陸巳様 後ほどの卓話よろしくお願いたします。

2月に入りました。今週日曜日は建国記念の日です。昭和41年「建国をしのび、国を愛する心を養う日」として定められた国民の祝日であります。元々、日本の初代天皇であります神武天皇が即位された紀元前660年2月11日を「紀元節」として明治5年から昭和23年まで祭日にしていましたが、戦後GHQが皇室と神道の関係が深いからとすることで祭日を廃止したそうですが、その後紀元節を復活させようとする動きが高まり、建国を記念する為の祝日を設けることになり、名前を「建国記念の日」と変えて、昭和41年に国民の祝日として認められ翌年から適用されているそうです。



又、「建国記念日」でなく「建国記念の日」と「の」の字が入る理由は、「記念日」は歴史的事実として日付が確定している日を記念するという意味があり、「記念の日」は日付を確定していないが、その事を記念するという意味になるそうです。

建国の定義は国によって様々ですが、多くの国は「この日に建国された」と日付が歴史的に事実として確定していますが、日本の場合はその日が明確ではないとされ、紀元節では神武天皇が即位された日とされ、日本書紀にもその事が記載されていますが、神武天皇は日本神話の人物であって実在しなかったと考えている人もいるため、紀元節を復活させようと話し合っているとき、神武天皇が即位された日を祝日にすべきかという議論や、与野党の法案提出と廃案を繰り返し間に「の」を挿入することで建国されたという事そのものを記念する日であることを解釈できるようにし、昭和41年に「建国記念の日」を定める祝日法改正案が成立したそうです。

ロータリーの話に戻りまして、

2月は平和と紛争予防/紛争解決月間であります。2014年10月のRI理事会で2月の重点分野を「平和と紛争予防/紛争解決月間」としました。紛争予防と仲裁に関する、若者で将来、リーダーとなることが望まれる人を対象とした研修の実施や、紛争地域における平和構築の支援、平和と紛争予防/紛争解決に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金支援を強調す

る月間であります。

又、1905年2月23日は、ロータリーの創始者ポール・ハリスが、友人3人と最初に会合をもった日でありロータリーの創立記念日です。そして2月23日を祝う創立記念日として、「世界理解と平和の日」として順守されています。又、2月23日に始まる1週間を「世界理解と平和週間」と呼んでいて、各クラブでは、国際理解、友情、平和へのロータリーの献身を特に認め、強調しなければならないとされています。

2月23日からの「世界理解と平和週間」中の2月24日（土）は藤並駅東口への桜の植樹例会を計画しています。皆様ひとりでも多くのご参加を頂きまして、素晴らしいものとしたと考えていますのでよろしくお願いいたします。以上で会長の時間を終わります。ありがとうございました。

●幹事報告● 辻本正成君

- ◆3/17親睦例会出欠 (回覧)
- ◆2/24植樹例会出欠 (回覧)
- ◆RLI (ロータリー・リーダーシップ研究会) 開催の御案内
- ◆PETS開催の御案内
- ◆ロータリー財団地区補助金申請書
- ◆例会変更 (掲示)



●各委員会報告●

- ◆親睦委員会 (上野祥弘君)
2月の会員誕生日
吉水志朗君、南良暢君、浦崎寿光君



- ◆会長エレクト (南 良暢君)
ロータリーの友2月号より
横組
P10特攻隊員に思いをさせ
P12豊川海軍工廠跡地に平和を
願ひ、桜を植樹
P26地区大会略報Ⅲ
縦組
P4戦線からの生還・開拓・奨学金
P9クラブを訪ねて パワー浜松RC
P24ロータリーアットワーク



●出席報告●

	会員数	出席者数	出席率
本日の出席	17名	15名	88.24%
1/24	17名	16名	94.12%

●ニコニコ箱報告●

- 大浦輝彦君：みなさんこんばんは。永石様、本日の卓話よろしくお願いします。
- 辻本正成君：永石さん本日の卓話楽しみです。
- 前任君：永石様、急な変更を受け入れて頂きありがとうございました。
- 永石睦巳君：皆様いつも有難うございます。職業奉仕委員会らしい卓話になればと思います。
- 上野祥弘君：永石君本日の卓話宜しく願いします。
- 宮崎晴雄君：永石君本日の卓話宜しく願いします。
- 川島信治君：永石さん卓話宜しく願いします。
- 上田益稔君：永石さん卓話楽しみにしています。いつも有難うございます。

●卓話●

『応援される会社 熱いファンがつく仕組みづくり (光文社新書)』の紹介

永石 睦巳君



専門はマーケティング論、創造性開発(プランニング、事業モデル開発)、コンテンツビジネス論。著書に『事例でわかる物語マーケティング』(日本能率協会マネジメントセンター)、『不況になると口紅が売れる』(マイコミ新書)などがある。

●閉会点鐘●

「消費者」が「応援者」に!

新たな時代のマーケティング論

著者 新井範子, 山川悟

近年、顧客による甚だしいブランド愛顧行動が話題を呼び、マーケティングの研究対象となってきた。好きな商品を大量に仕入れて仲間内で配る、お気に入りブランドの広告を制作して動画サイトにアップする、商品の新用途を考えて逆提案する、先行き不明な新事業にクラウドファンディングで寄付する、経営危機の企業にボランティアで知恵を貸す、終売してしまった商品を復刻させる、などである。これらはまさに、プレイヤーとしてのブランド応援団の様相を示している事例であろう。もはや商品・サービスを通じて便益を受ける立場に飽き足らず、「何かをしてあげたい対象」として企業やブランドを位置づけている。

◇目次

- 第1章 なぜ今、「応援」を考えるのか
- 第2章 応援経済が進行している
- 第3章 応援されるブランドの種類と特徴
- 第4章 応援される会社「4つの必要条件」
- 第5章 応援を味方につける方法

◇著者プロフィール

新井範子(あらいのりこ)

上智大学経済学部経営学科教授。
インターネットやアプリを使ったデジタルなマーケティング、デジタル空間での消費者行動やブランディッド・エンターテイメントを中心に研究をしている。著書に『みんな力』(東洋経済新報社)、『変革のアイスクリーム 「V字回復」を生んだ13社のブランドストーリーに学ぶ』(ダイヤモンド社)などがある。

山川悟(やまかわさとる)

東京富士大学経営学部教授。
広告会社のマーケティング部門において、広告計画、販売促進計画、ブランド開発、商品開発などに携わった。